



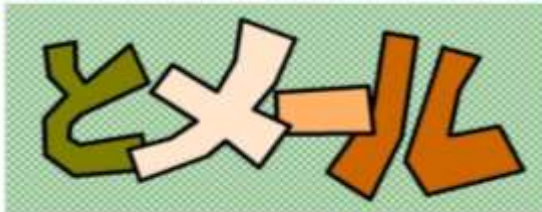
75歳医療費窓口負担2倍化ストップ!!活動推進ニュース

発行団体

- 全日本年金者組合中央本部
- 中央社会保障推進協議会
- 全国保険医団体連合会事務局
- 日本高齢期運動連絡会

東京都中野区中央5-48-5 シャン
ポール中野504
☎ 03-3384-6654

2022年6月7日発行 No15



日本共産党

参議院に「75歳医療費2倍化中止法案」提出

10月実施は中止を！

参議院に「高齢者医療費2倍化中止法案」提出。いわぶち友、武田良介両議員と（発議者の倉林明子議員は厚労委出席中）。物価高騰に加え年金削減下に、高齢者370万人に1900億円の負担増/年（一人当たり約52000円）で、受診抑制も心配です。「現役世代の負担軽減」は月30円にすぎず。10月実施は中止を！

https://twitter.com/koike_akira/status/1534062292341751813?t=PS6wZev5n4jMwXJ5OeIfNw&s=06

（小池晃参議院議員 Twitterより）



引き続き立憲民主党など他の野党にも訴えていきましょう。

全国で地元議員への働きかけを強めてください。

立憲民主党

参議院選挙政策に医療保険・提供体制の見直し盛り込む

立憲民主党は、参議院選挙政策に、「医療保険・提供体制の見直しとして、以下の政策を掲げています。（立憲民主党ホームページ参照）

◆後期高齢者支援金を拠出する現役世代の負担を軽減するため、後期高齢者医療保険の保険料賦課限度額を引き上げるとともに、公費を充当します。

また、政府がコロナ禍の中で行う後期高齢者の医療費窓口負担割合引き上げ（1割→2割）を撤回します。

公立・公的病院の統廃合や病床削減につながる「地域医療構想」を抜本的に見直します。

憲法9条・25条を守るたたかいをひとつに 平和的生存権を守れ

参議院選挙で人権としての社会保障実現をめざす

75歳医療費二倍化中止 全国学習決起集会

6月13日(月) 16時から17時 オンライン集会

◆ミニ学習講座「参議院選挙を全世代型社会保障改革ストップさせる闘いに」

講師・住江憲勇先生(全国保険医団体連合会会長)

◆基調報告

◆地域・団体からの発言

◆Zoom ミーティング ID: 832 7125 0040 パスコード: 120150

神奈川社保協ニュースより

<緊急> 団体署名を提出!! ~ 5.26 国会署名提出行動

5月26日、署名提出国会行動が行われ、全国から150人が国会に参加しました(オンライン参加50カ所)。神奈川からは、医労連・自治労連・民医連・川崎社保協・県社保協から12人が参加しました。

この日までに全国から寄せられた署名の累計は、①75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求める請願署名703,419筆、②介護保険の抜本改善をめざす請願署名288,077筆、③安心・安全の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための請願署名(新しいのち署名)45,739筆です。神奈川の提出署名の累計は、①49,276筆、②11,104筆、③15,042筆です。

上記の3署名とあわせて、2つの緊急団体署名を提出しました。取り組み期間は、1カ月足らずでしたが、「75歳以上医療費窓口負担2割化10月実施中止法案提出を要請する緊急団体署名」1030筆、「介護職員の抜本的な処遇改善を求める緊急団体署名」1924筆提出されました。神奈川からは、それぞれ269筆、281筆を提出しました。

自治労連と川崎社保協、県社保協の参加者は、「75歳以上医療費窓口負担2割化10月実施中止法案提出を要請する団体署名」を、福島みずほ議員(社民党)、大石あき子議員(れいわ)に提出し、中止法案の提出を要請しました。